

しょうがくせい
小学生
を
向け

とうきょう はな
これからの東京を話そう！

こどもワークショップで
はな あ
話し合ったこと

まな こうこう
もっと学びたくなる、新しい高校のアイデア

ねん がつ にち もく じっし
2025年8月21日(木)実施

き いけん こんご
みなさんから聴いた意見は今後のアクションにつなげていきます

もっと^{まな}学び^{あたら}たくなる、^こ新^こしい^こ高校^この^こアイ^こデア

^{かいざい}び ^{ねん} がつ ^{にち} もく
[開催日] 2025年8月21日(木)

^ば しょ ^{だい} にっ ^{ぼん} いん ^{さつ} かぶ ^{しき} がい ^{しや} ^{とう} きよう ^{しん} じゅく ^く
[場所] 大日本印刷株式会社P&Iラボ・東京(新宿区)

みなさんがもっと^{まな}学び^{がっ}たくなる^こ学校^{つく}を作る^{あたら}ため、
^{あたら} ^{がっ} ^こ
新^{あたら}しい^{がっ}学校^こづくり^{つく}の^{つく}アイ^{つく}デア^{つく}について
^{いっ} ^{しよ} ^{はな} ^あ
一^{いっ}緒^{しよ}に^{はな}話^あし合^あって^あもら^あいま^あした^あ。

^{こえ} ^{こえ}
みなさんの^{こえ}声^{こえ}と、その^{こえ}声^{こえ}をも^{こえ}と^{こえ}にした^{こえ}
^{とう} ^き ^{よう} ^と ^{とり} ^く ^み ^う ^と ^し ^{ょう} ^{かい}
東^{とう}京^き都^{よう}の^と取^し組^{ょう}や^{かい}受^しけ^し止^しめ^しを^し紹^し介^しし^します^し。



みなさんに^き聴^きいた^きこと



^{まな} ^{がっ} ^こ
『も^{まな}っと^{がっ}学^こび^こた^こく^こなる^こ学^こ校^こ』に
^{ひつ} ^{よう} ^{よう} ^そ
必^{ひつ}要^{よう}な^{よう}要^そ素^そ



^{わたし} ^{かん} ^が
私^{わたし}た^{かん}ち^がが^{かん}考^がえ^がる^が

^{まな} ^{がっ} ^こ
『も^{まな}っと^{がっ}学^こび^こた^こく^こなる^こ学^こ校^こ』



ワークショップの流れ



1

テーマについての勉強

よそく ほうこう か せかい
予測できない方向にどんどん変わっていく世界で、
こども いぬ ちから ぼく
子供たちが生き抜いていく力を育むために、
とりつこう あら きょういく めざ
都立高校が「新たな教育のスタイル」を目指して
がんば はな き
頑張っていることのお話を聴きました。



2

見学

だいにっぽんいんさつ かぶしきがいしゃ とうきょう
大日本印刷株式会社のP&Iラボ・東京で、
ぎじゆつ か あ てんじ けんがく
技術とアイデアを掛け合わせた展示を見学し、
みらい そうぞう ふく
未来への想像を膨らましながら、
アイデアのヒントにしました。



3

話し合い

わ じゆう いけん だ あ
グループに分かれて自由に意見を出し合いました。



4

みなさんの声

かみ か いけん み
紙に書きだして、いろんな意見が見えるようにしました。



5

発表

じぶん かんが ほん あ
自分で考えたことやグループで話し合ったことを
みなさんに伝えました。



6

声を届ける

とうきょうと しよいん こえ とど
東京都の職員にみなさんの声を届けることができました。

カテゴリ

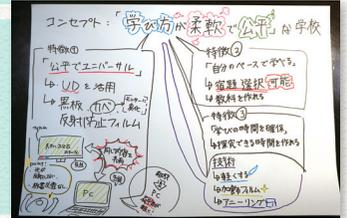
1 班「柔軟で公平な学校」

リアルの充実した学校をベースに考えた。

● 公平でユニバーサルなデザインで誰もが安心して学校

● 自分のペースで学べる

(例) 将来なりたい職業に合わせて新しい科目を学べる
探究時間を増やして、好きなことをたくさんできる



✓ 先生の一方向的な考えでなく、一人ひとりの生徒の意見を尊重(中1)



✓ 自分たちで教科を作れる(中1)



✓ 宿題の選択が可能(中1)



✓ ラボにあった加飾フィルムを使って、どこからでも見られる黒板(中1)



東京都の受け止め

学校の主役である生徒一人ひとりに着目することが、みなさんの学びの意欲につながります。生徒の興味関心に応じた新しい科目を学べたり、好きな教科を選択して学んだりできるなど、一人ひとりの興味に着目し、学びたいように学べる学校を目指していきます。

また、先生や友達との関わりも大事にして、色んな技術で学びの環境を新しくしながら、「リアルの教育」を大事にしていきます。



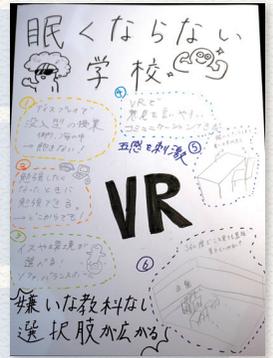
カテゴリ

2班 「眠くならない学校」

● 受け身の授業だと眠くなる

● VR技術を使う。海中や空といった非日常の空間にして、学習に関する世界を実現

● メタバース空間であれば学校に行かなくても学習できる



✓ 歴史で習ったことを復習したり、実際に行くことが難しい所を立体的にみる(中3)



✓ 集中できる・眠くならない学校(中3)



✓ 環境が同じ(教室、席)じゃなく、飽きないための環境づくり(中3)



✓ 「嫌い」がなくなる(=全部わかる! 探求心が高まる)(中3)



東京都の受け止め

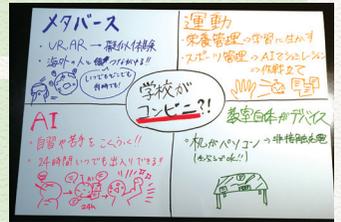
一つ一つの学びがしっかりとみなさんに届くよう、生徒の皆さんが自ら「聴きたい!」と思える学びを充実する学校づくりが必要です。そのために、先生が一方的に教え込む授業ではなく、生徒が自ら課題を設定し、解決策を主体的に考えていく学習に変えていきます。また、色んなアイデアや想像が膨らんで、さらに学びたいという意欲がわくように、デジタル技術をうまく学びにつなげる「デジタルの教育」も充実していくことを目指します。





カテゴリ 3 班 「コンビニみたいな学校」

- AIを使って自習をして苦手の克服を助けてくれる。何が足りてないかを單元ごとに判定してくれるし、機械なので24時間
- ラボで見た栄養状況の分析機械を使って、学習の軸となる身体状況を把握。体育でも作戦を練れたり
- 机がタッチパネルになっていて、調べ物もできる万能なもの。壁もそのような機能があって、その場にいるような体験



教室自体がデバイス(高1)



メタベースで不登校の子も学校に通えたり、VRやARで疑似体験(高2)



自分専用のAIを育てて足りないものがなにかわかる(高1)



$$\begin{array}{l} \frac{x-1}{2} \times 6 \\ \frac{1}{2}x = \frac{1}{3}x + 2 \\ 3x + 1 = -8 \end{array} \quad \begin{array}{l} -7x + 7 + 4x \\ a - 9 - \frac{a}{3} + 7 \\ 4a \div (-\frac{2}{5}) \end{array}$$



AIでシミュレーションとか作戦を立てる(高1)

東京都の受け止め

「学びたい」と思ったときにいつでもどこでも学べる仕組みがあれば、生徒の皆さんが自分のペースで、自分の学びを深める姿勢が強く身につくと思います。

そのために、自分の学習をデジタルで可視化したり、教材をデジタル化していつでも学べるようにするなど、最先端のデジタル技術をうまく使いながら、みなさんの学びの手段を広げて充実させていくことを目指します。





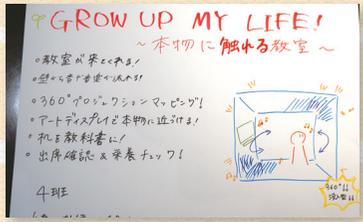
カテゴリ 4班 「GROW UP MY LIFE!」

● 教室自体が自分たちのもとに来てくれる

● 壁から音や音楽が流れる

● 360度、学習に関わる内容を映し出す

● 机をデバイスにすれば、教科書とかをもっていかななくていい



✓ バーチャルで、
360度プロジェクション
マッピング、
没入型(高2)



✓ アートディスプレイで、
本物に触れられる
教室(高2)

✓ 必要なものが
自分で移動して
きてくれる(高2)



✓ 数学の授業で立体物の
問題が見られたり、
歴史の授業で土器を見る(高2)



東京都の受け止め

みなさんの学びに必要なものが、身の回りに充実していることが、「学びたい」と思える原動力になります。

黒板と机と椅子という教室から、360度デジタル技術を活用することを前提とした教室への転換として、「景色」や「音」など、五感で感じられるデジタルなどの技術を最大限活用したり、実践的で体験的な学びを充実させて、みなさんが楽しく学びを深めていく環境の強化を目指します。





ワークショップの概要

テーマ

もっと学びたくなる、新しい高校のアイデア

内容

「こんな高校があったらいいな」
「こんな学校だったら、積極的に学びたい」
デジタル技術とリアルな人とのコミュニケーションをかけあわせた、未来の高校のイメージやアイデアについて一緒に話し合ってもらいました。
みなさんの声と、その声をもとにした東京都の取組や受け止めを紹介いたします。

あつ にんずう 集まってくれた人数

中学生10名、高校生7名:17名

にち じ 日時

令和7年8月21日(木) 13:10~16:50

ば しょ 場所

大日本印刷株式会社P&Iラボ・東京(新宿区)

たんとうきょく 担当局

教育庁



みなさんの意見を踏まえた 東京都の取組



東京都の目指す「新たな教育のスタイル」ってなに？

生徒の皆さんが「もっと楽しく私らしい学び」を実現できるよう、これまでの学校のスタイルに加えて、学びの選択肢を増やしていくために取り組んでいます。

●決まった時間割で教室で学ぶ

…▶学校内外でいつでも学べる選択肢もプラス！

●先生が教科書で教える

…▶専門家などの社会で活躍する人から学ぶ選択肢もプラス！

●授業に出席して履修する

…▶論文やコンテストなど、授業以外での成果も選択肢にプラス！

●教員が一斉に指導していく

…▶生徒がそれぞれの知識や興味により、主体的に学べる選択肢もプラス！

事業スケジュール

東京都では、2025年度からこの取組をスタートしました。

ワークショップで皆さんからいただいた意見を参考にしながら、生徒の皆さんが興味・関心をもって自ら学んでいけるような、様々な学びのアイデアを実現していきます。

2025年度末	取組の進捗状況を、「中間の取りまとめ」として発表	いまはココ!
2026年度以降	引き続き、各取組をパワーアップ ⇒全都立高校が段階的に新しい学びの場へ	
2029年度	「新たな教育のスタイル」の実施校（仮称）を開校	



ワークショップの感想とお礼



じ かん なが
(時間の長さが)ちょうどよい。(中2)

かいじょう ふん い き よ たの
会場の雰囲気がとても良くて楽しむことができた。(高1)

かいじょう ふん い き す
会場はとてもなごやかな雰囲気で過ごしやすかった。(高2)

かいしゃ ない てん じ み あと だ
会社内の展示を見た後のアイデア出しを
おお よ おも
多めにするとうれしいと思います。
ちゅう
ありがとうございました。(中3)



とうきょうと う と 東京都の受け止め

「もっと学びたくなる、新しい高校のアイデア」として、たくさんの自由なアイデアをありがとうございました。

みなさんのアイデアを参考にして、「もっと学びたくなる」都立高校づくりに向けて、「新たな教育のスタイル」の取組をさらに充実していくための検討を続けています。取組の進捗状況は、「中間の取りまとめ」として発表しています。

ぜひご覧ください。
今後も、東京都教育委員会の「新たな教育のスタイル」の確立や、新しい学校づくりに向けた取組を楽しみにしていただきます。



あら きょういく
新たな教育のスタイル
ちゅうかん と
「中間の取りまとめ」





こどもワークショップって何？

東京都は、子供の笑顔があふれる社会の実現を目指しています。

こどもワークショップは、社会の主役であるみなさんが
意見を出し合う場として開催しました。

東京都をもっとすてきな場所にするため、みなさんの思いや考えを聴きました。

なぜ、
こども
子供に
聴くの？

子供は社会の一員であり、たくさんの権利を持っています。
子供の権利が大切にされ、
みなさんが幸せにすごせるように
「東京都こども基本条例」ができました。



東京都こども基本条例

● 子供を権利の主体として尊重

子供には、誰もが持っている当たり前の「権利」があり、大切にされます。

● 子供の最善の利益が最優先

大人は、子供に最もよいことは何かを第一に考えます。

● 子供の意見は大切

子供の意見は価値があるものです。大人は、子供の意見にしっかり向き合います。

東京都は、みなさんが安心して学び、遊び、暮らせるように、学校や公園、水道、病院、道路など、毎日の生活に欠かせないさまざまなことを支えています。また、社会にあるいろいろな課題を解決するための取組も進めています。

そして、子供のための取組を考えると、主役であるみなさんの声はとても大切です。東京都は、これからもみなさんの思いやアイデアをさまざま

まな形で聴き、よりよい政策づくりに生かしていきたいと考えています。
ぜひ、みなさんの率直な意見や気づきを聴かせてください。

みなさん向けの情報を掲載

しているホームページがありますので、ぜひご覧ください。



